

郷土研究
伊丹公論

復刊
第23号
通巻 42号
年 4 回発行

発行所
伊丹市立図書館ことば蔵
〒664-0895
伊丹市宮ノ前3-7-14
☎072・784・8170
編集
伊丹公論編集委員会

宮本輝さんの大河小説「流転の海」完結

「勇気わく」「生きる糧」…愛読者が魅力語る

市内在住の作家、宮本輝さん（71）による大河小説「流転の海」がこのほど、第九部「野の春」で完結した。自身の父をモデルにした実業家とその家族の人生が描かれており、昭和56年（1981）の執筆開始から実に37年の歳月を要した。宮本さんのファン（通称テルニスト）が集う、梅ノ木5の喫茶店「青い屋根」のマスター、寺田憲治さん（72）に作品完結について寄稿いただいた。

この小説で読書の楽しさ知る

「流転の海」は、終戦直後の昭和22年（1947）、大阪の闇市から物語がスタートします。主人公、松坂熊吾の波乱万丈の人生が、時代の変遷とともに描かれ、読む人の心を打ちます。「大きな人間の、大きな

ドラマを書きたかった」と、完結記念インタビューで宮本先生が語っているように、実に多くの読者がその言葉以上の読後感を持ち、作品を絶賛しています。

「流転の海」第一部は「惚れて惚れぬいた松坂熊吾だ。何としても人には譲れない。死ぬ気で演ろう」という森繁久彌さん（当時77歳）の主演により平成2年（1990）に映画化されています。

私は「流転の海」に出会ったおかげで小説の面白さに魅了され読書の

とにかく面白い小説である

大阪府豊中市、金井恭司さん（58）「流転の海」シリーズに与えられる形容詞は枚挙に遑がない。作家、宮本輝の自伝的大河小説であり、戦後の大阪を舞台に生きる実業家、松坂熊吾の半生を描いた戦後史、昭和史であり、夫婦愛、父と子、母と子の家族愛を表現する小説、経営論、組織論を学べる経営小説、青春小説、生き方の指南書等々、様々な要素を織り込んでおり一つのカテゴリーに収まりきらない。

またこの小説は金言の宝庫でもあるが、数多くの金言を散りばめながら説教臭くならない。その理由は正に物語の面白さに尽きるところ。千人を超える登場人物がそれぞれに魅力的な個性を持ち、様々なエピソードが展開され、長い時間軸の中で絡み合う展開は実に見事であり、この長い物語を飽きることなくどんどん読めてしまう要因であると思う。

とにかく面白い小説である。ぜひ

宮本輝さん（右）と「流転の海」第一部直筆原稿レプリカ（左）

ぶ全九巻の大作を完結したことは「驚天動地の偉業」であると賞賛したいと思います。私はこの作品を読むことで心に良い影響を受け、全般的に不安障害の症状が緩和しました。こんなにも人に生きる勇気を湧かせたり、生きる糧となったりする小説は他には無いと思っています。

「流転の海 第一部「地の星 第二部」「血脈の火 第三部」「天の夜曲 第四部」「花の回廊 第五部」「慈雨の音 第六部」「満月の道 第七部」「長流の畔 第八部」「野の春 第九部」どの部も、読み終えると、「雄心勃勃」となり、素晴らしい読後感が得られました。

人とは何か、家族の絆とは何か、生きるとは何か…。私にとって「流転の海」シリーズは、人生を考えさせられる書と言えます。

愛読者になったファンの方々も再読、再々読を繰り返す度に新たな発見があり、また読んでみたくなると仰っています。将来的には文学史の中に燦然と輝き、年齢問わず老若男女に読み継がれ、「国民文学最高傑作小説」だと言われるようになるでしょう。郷土作家というよりも、今や日本の現代を代表する文豪である宮本輝さんの著作本を是非とも読んでもらいたい。

全国には多くのテルニストがいます。宮本作品を通じて知り合った熱烈な愛読者四人にもその思いを語っていただきました。

いくであらう。

いつしか登場人物が近い存在に

東京都板橋区、山下千恵子さん（50）我が家で一番ボロボロの文庫本は「流転の海」と「地の星」です。著者が37年という長い年月をかけて完成させた「流転の海」シリーズ全9巻。20数年前に読み始めてから、新刊が発売される度に読み返し、発売されない年も読み返し、そのうち、松坂家の3人をはじめ、登場人物たちが自分のまわりに実在する近しい人のように思えてきて…。

愚直に、あるいははしたかに、誠実に、あるいは狡猾に、戦後の昭和という時代を懸命に生きる名もなき庶民たちの姿に、ぐいぐい引き込まれていきます。作品は「野の春」で幕を閉じましたが、私の中で、松坂家の、そして登場人物たちの物語はまだ続いています。願わくは、皆それぞれが生老病死の荒波を乗り越え、春を迎えていますようにと。

読後も登場人物に会いたい

東京都北区、大熊篤史さん（52）戦後の激動の時代を松坂熊吾とその家族、そして宿縁浅からぬあまた

母校でも企画展 4月9日から宮本輝ミュージアムで

宮本輝さんの母校である追手門学院大学の附属図書館「宮本輝ミュージアム」（茨木市西安威2）は「流転の海」シリーズ完結を記念し、新年度に2回にわたり企画展を予定している。

前編は4月9日から9月13日まで開催。作品の直筆原稿や登場人物の紹介パネルなどが展示される。記念撮影コーナーも開設。芥川賞正賞の懷中時計をはじめとする愛用品や直筆原稿などの常設展示も楽しめる。

入場無料。問い合わせは同館☎072・641・9638へ。

の人々がそれぞれの宿命に翻弄されながらも必死に生きていた。その多くが無名の庶民でありながら、彼らの生きざまに、死にざまに、涙するほど心が震えたり、自分の生き方を省みずにはいられない肅然とした思いになったり、深遠で不可思議な人間の命の営みが時として奇跡のような光彩を放つことを私は「流転の海」で何度も味わうことができた。気がつけば、知らないはずの時代を自分も熊吾一家とともに生きているような気持ちになっているのである。

最終巻の「野の春」を読み終えても、また何度でも愛しい人々に会いたくなる。そんな物語に出会えた幸に感謝したい。

「流転の海」全9巻は、ことば蔵3階で所蔵。また、2階にある郷土作家コーナーでは、宮本輝さんの直筆色紙や初回原稿のレプリカを展示しています。ぜひご覧ください。

「ああ、新聞紙！」

第6回 日本一短い自分史 大賞に成田市の小野寺直美さん

ことば蔵はこのほど、「今までで一番半端ない出来事」をテーマに募集していた「日本一短い自分史」の大賞に千葉県成田市のバート、小野寺直美さん(65)の作品「ああ、新聞紙！」を選んだ。



愛車カワサキ KSR とツーリングを楽しむ小野寺さん＝平成 30 年 6 月、富良野市で

日本一短い自分史の募集は平成 25 年度から始まり、今回が 6 回目。9 月 1 日から募集し、市内外から計 240 点の応募があった。審査員は伊丹大使の坪内稔典・佛教大名誉教授、永吉雅夫・追手門学院大教授、中周子・大阪樟蔭女子大教授の 3 人。秀作入賞者は、宮崎県延岡市の丸山有加里さん(45)、東京都北区の尾朝徹さん(71)、愛知県安城市の森永政雄さん(82)の 3 人。大賞作品の全文は以下のとおり。

ず、店長もいい人で働きやすかった。年度から始まり、今回が 6 回目。9 月 1 日から募集し、市内外から計 240 点の応募があった。審査員は伊丹大使の坪内稔典・佛教大名誉教授、永吉雅夫・追手門学院大教授、中周子・大阪樟蔭女子大教授の 3 人。秀作入賞者は、宮崎県延岡市の丸山有加里さん(45)、東京都北区の尾朝徹さん(71)、愛知県安城市の森永政雄さん(82)の 3 人。大賞作品の全文は以下のとおり。

「命に別状なくてよかったなあ。ほやけど、若い女のコが体に新聞紙なんか巻いとったらあかんよ。服を脱がせたときに私ら皆びっくりしたわ」

ああ、そうだ、新聞紙！恥ずかしくて、穴があったら入りたい気分だった。

小野寺さんの話「40 年間封印していたバイクを、3 年前にまた始めました。そして、一昨年の夏、念願の北海道ソロツーリングに行きました。数々の素晴らしい景色、誰もいないまっすぐに伸びた道路…。感動の連続でした。好きな場所で心ゆくまで景色を楽しみ、疲れたら休む、そんな気ままな旅でした。6 月の北海道は思った以上に寒かったけど、新聞紙を体に巻くのは止めておきました」。

もう四〇年以上も前のこと。自活して大学に通うと決めて、京都で念願の一人暮らしを始めた。炊事場もトイレも共同、お風呂なしの一間のアパートでも、私にとっては快適な城だった。貧乏学生だった私は毎日洋菓子店で働いた。立ちっぱなしの仕事も苦になら

静穏な環境を求めて住民の訴訟や調停が相次いだ。伊丹市民は公害紛争処理法に基づく調停の手法を選び、地域ごとに六つの調停団を結成し一団となって立ち向かった。伊丹市は、11 市で協議会を組織して国と戦った。また、国に先駆けて航空機騒音規制基準、環境保全条例をつくり、空港撤去都市宣言を掲げた。市民の環境を守るための苦渋の選択だった。

国は昭和 40 年代から漸次、経済成長から生活環境への均衡を図っていく。環境庁ができ、昭和 45 年(1970)の大阪万博は「人類の進歩と調和」がテーマになった。市民の粘り強い運動は、日本の環境対策を大きく前進させ伊丹市は平成 19 年(2007)、空港共生都市宣言を行った。長い長い道のりであった。

筆を進めるうち、あのころ苦勞された普通のおっちゃん、おばちゃんたちの顔が目につく。調停成立を受け、目には涙が光っていた。空港が憎いのではない。人として共生できる当たり前の生活環境を願ったのだ。

国との調停を締結させた公害調停団は、運動をつぶさに語る「伊丹の空―大阪空港公害調停団 炎の運動史」を出版した。あとがきにこう記している。「市民大事を為す」。

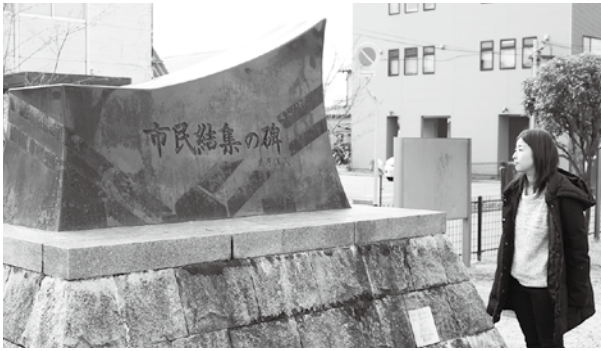
平成 24 年(2012) 7 月 1 日、当館は「公園のようない図書館」を掲げ現在の宮ノ前地区に移転、「ことば蔵」としてリニューアルオープンした。どんな図書館にしたいか、市民と共に運営方法を考え、積極的に市民との参画・協働を進めてきたことで、平成 28 年(2016)には図書館日本一「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー 2016」大賞を受賞した。

温故知新。当館の平成の歩みを振り返ると、どんな時も市民ニーズに柔軟に対応してきたことを再認識することができた。今後もこの姿勢を堅持し、市民に愛される図書館を維持していきたいと考えている。

市民 国とジェット機騒音で戦う 伊丹空港共生都市への歩み

郷土史
ことば蔵

23



昭和 48 年(1973)、市民が国に戦いを起こした。原因は大阪国際空港(伊丹空港)のジェット機騒音だ。完全に怒った。公害紛争処理法に基づく調停申請を起こしたのだ。

正式には「大阪国際空港騒音調停事件」と呼ばれる。1 万 8 千人の市民が参加した。調停委員会のテーブルに国と市民(調停団代表)がついて粘り強く話し合った。そして昭和 61 年(1986)に遂に調停は成立したのだ。実に 13 年にわたる戦いであった。

振り返れば昭和 39 年(1964)のジェット機就航に伴い、その騒音は市民生活を完全に破壊し、発進直下では、時に 110 分を超えた。眠れない。寝ている赤ちゃんは無意識に震えて起き出す。団らんの会話もできない。テレビ・ラジオも聞こえない。ジェット機騒音は、水俣病や四日市市の大気汚染などに続く大きな社会問題となっていく。

被害区域は空港周辺 11 市に拡大。自治体や周辺住民の国を相手取っての陳情ではちが明かなくなった。

最初、国は昭和 40 年代から漸次、経済成長から生活環境への均衡を図っていく。環境庁ができ、昭和 45 年(1970)の大阪万博は「人類の進歩と調和」がテーマになった。市民の粘り強い運動は、日本の環境対策を大きく前進させ伊丹市は平成 19 年(2007)、空港共生都市宣言を行った。長い長い道のりであった。

筆を進めるうち、あのころ苦勞された普通のおっちゃん、おばちゃんたちの顔が目につく。調停成立を受け、目には涙が光っていた。空港が憎いのではない。人として共生できる当たり前の生活環境を願ったのだ。

国との調停を締結させた公害調停団は、運動をつぶさに語る「伊丹の空―大阪空港公害調停団 炎の運動史」を出版した。あとがきにこう記している。「市民大事を為す」。

最初、国は昭和 40 年代から漸次、経済成長から生活環境への均衡を図っていく。環境庁ができ、昭和 45 年(1970)の大阪万博は「人類の進歩と調和」がテーマになった。市民の粘り強い運動は、日本の環境対策を大きく前進させ伊丹市は平成 19 年(2007)、空港共生都市宣言を行った。長い長い道のりであった。

市民ニーズに柔軟に対応

市立図書館の平成 31 年間



平成という時代がまもなく幕を下ろそうとしている。31 年間という長さは、日本の歴史上、昭和の 64 年、明治の 45 年、応永の 35 年に次ぐ 4 番目の長さだ。今年 5 月 1 日の改元を前に当館の平成の歩みを振り返ってみた。

平成元年(1989)当時、市立図書館は市役所東側(千僧 1)にあり、本館と分室(神津・伊丹・池尻)のほか、自動車文庫「こかげ号」があった。こかげ号は約 4 千冊を搭載し、市内の 47 の駐車場を巡回。貸出冊数は年間 10 万冊を超えた。分館のオープンに伴い、平成 13 年 4 月に廃止となるが、こかげ号の名前を聞く人も多いのではないだろうか。

平成は自然災害の相次いだ時代だった。阪神・淡路大震災(7 年)、東日本大震災(23 年)という巨大地震が起き、平成が終わる前の年にも大阪府北部地震、台風 21 号、北海道胆振東部地震に見舞われた。

阪神・淡路大震災で当館は大きな被害を受け、一般開架室のスチール書架は 21 本が倒壊。また 1 階の冷却水管が破裂し、図書 1 万冊が水浸しに。図書館業務が全面再開したのは地震から 3 カ月後だったが、自習室は「受験を目前に控えた受験生に提供する」と、地震発生翌週の 1 月 23 日から開放されたことが震災の記録として残されている。

平成 24 年(2012) 7 月 1 日、当館は「公園のようない図書館」を掲げ現在の宮ノ前地区に移転、「ことば蔵」としてリニューアルオープンした。どんな図書館にしたいか、市民と共に運営方法を考え、積極的に市民との参画・協働を進めてきたことで、平成 28 年(2016)には図書館日本一「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー 2016」大賞を受賞した。

温故知新。当館の平成の歩みを振り返ると、どんな時も市民ニーズに柔軟に対応してきたことを再認識することができた。今後もこの姿勢を堅持し、市民に愛される図書館を維持していきたいと考えている。

本の貸出をする自動車文庫「こかげ号」＝平成 5 年 7 月、阪急新伊丹駅前

兄の和希さん（右）と弟の晃希さん

写真協力：西田写真館



連弾で音楽の楽しさを伝えたい

双子ピアノデュオ「堂本兄弟」 堂本 和希さん・晃希さん (17)

中高一貫校に通う2人は、中学3年の時に受験勉強をしない代わりに何かで

得。2年後には日本テレビに出演し有名アイドルと共演。また東リいたみホールでリサイタルを開催し、150人規模の会場を満員にした。

二人の将来の目標は、和希さんが音楽療法士として、晃希さんが小学校の先生として活躍することだ。しかし、二人は「これからピアノと演奏のボランティアは可能な限り続け、多くのおみなさんに音楽の楽しさを知ってほしい」と話している。

堂本兄弟へのボランティア出演依頼は、どうもと音楽教室 072・775・3934へ。

現代人物風景

ピアノコンクールの全国大会でグランプリを取るほどの実力を持つ、高校2年生の双子が、福祉施設などをまわって連弾を披露するボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

ピアノ講師の母親の影響で3歳からピアノを始め、5歳から連弾にも取り組む。二人で演奏した方が楽しいから」と現在は連弾に専念している。人前で話

すが得意でよく指がまわる兄の和希さんが高音や主旋律を弾く「プリモ」を、おおらかな性格でなめらかに演奏するのが得意な弟の晃希さんが低音や伴奏で支える「セコンド」を担当、練習を重ねた。

二人はめきめき上達し、平成25年(2013)には、日本ピアノグレード認定協会主催のPIARRAピアノコンクール全国大会デュオ部門でグランプリを獲得。

二人の将来の目標は、和希さんが音楽療法士として、晃希さんが小学校の先生として活躍することだ。しかし、二人は「これからピアノと演奏のボランティアは可能な限り続け、多くのおみなさんに音楽の楽しさを知ってほしい」と話している。

堂本兄弟へのボランティア出演依頼は、どうもと音楽教室 072・775・3934へ。

兵庫県民歌作詞者

野口猛さん遺稿集 44年ぶり復刊

次男・富也さんが藤原市長に献本



戦後間もなく、当時の岸田幸雄・兵庫県知事の提唱で作られた『兵庫県民歌』(本紙復刊第12号参照)の作詞者で、晩年を伊丹市で過ごした野口猛さん(1906〜1972)の遺稿集『ひつじぐさ』が平成30年

10月、44年ぶりに復刊された。

野口さんは長崎県佐世保市生まれ、大阪市育ち。兵庫県で教員を務めるかたわら歌人としても活躍、県内の多くの小学校の校歌を作詞した。

『ひつじぐさ』は野口さんの3回忌に当たる昭和49年(1974)5月に夫人の止之子さん(1915〜2015)が編集し、私家版として刊行。昭和初期から晩年に至る30年余りの間に野口さんが詠んだ300首余りの短歌と、代表作『兵庫県民歌』の歌詞、楽譜(作曲・信時潔)が収録されている。

今回の復刊は「戦後間もない時期に作られ、多くの人に希望を与えた『県民歌』の存在をもっと多くの人に知ってほしい」という野口さんの遺族の

意向によって企画され、1冊から低コストで出版できる、インターネット書店、アマゾンのプリント・オン・デマンド(POD)サービスを使って実現した。

12月18日には野口さんの次男、富也さん(71)＝伊丹市寺本5＝が伊丹市役所を訪れ、復刊された遺稿集1部を藤原保幸市長に献本した。写真：席上、富也さんから遺稿集に収められている伊丹ゆかりの一首として「冬雲のしずむはたてに北摂の山さやかなり猪名の笹原」が紹介された。

復刊された『ひつじぐさ』はB5判63頁。アマゾンで発売中。価格は600円(税抜・送料無料)。電子版(Kindle対応)も発売されている。

(橋岡 昌幸)



老舗探訪 味一食品株式会社

伊丹市東有岡2丁目34-3
☎072-784-3149

うどんなど麺類全般を製造している。ルーツは正統時代に讃岐(香川県)で始めたうどん屋だ。戦後、紡績、鉄鋼業など畑違いの会社勤めをしてきた子どもたちが、またうどん作りをしようと呼びかけ親子5人、伊丹で商売を始めた。株式会社となったのは昭和51年(1976)。現在の野口晴久代表取締役が、兄から受け継ぎ二代目を務めている。

味一食品のうどんは手打ち式で製造。手打ちうどん本来のこしを再現すべく、特殊な機械を使用し、添加物に頼らない製法にこだわっている。

本来のうどんのこしは、たてよこ双方へ伸ばすことで生じるものだが、この工程を再現すると手間と時間が倍かかるとコストが高くなるため、このような製法を行っている工場は少ないそうだ。

多くの工場で生産されるうどんは、弾力を生む添加物を加えることで、たて方向だけに伸ばしただけで

もちが出るように作られているものが多く、小麦粉、塩、水だけで作るうどん本来の風味が損なわれているという。

こうしたかわりは代々うどん屋を営んできた味一食品のこだわりと言えよう。うどんスーパも販売しているが、こちらもちしを本格的にとつたものでこだわりの商品だ。現在は関西スーパーなどの量販店やレストランなどに商品を卸している。

野口雅弘専務取締役(45)に「昨今は流行りのうどんチェーン店についてたずねると、「出来立てのうどんのおいしさがより認知されることは大歓迎。業界全体で盛り上がりつつある」と話す。

また、商品へのこだわりは「製法にたずさわると人間なら、みんな持っているはずだ」と断言。こうしたこだわりが消費者に広く認知されることを期待したい。

(丸 晴子)



郷土産品紹介

カプセル入り昆虫ブロック発売

伊丹市昆虫館

伊丹市昆虫館ミュージアムショップでこのほど、さまざまな昆虫が組み立てられるカプセル入りのブロックが発売された。

このブロックは奈良県の会社が企画・製造する知育玩具「LaQ」(プラスチック製)。7種類の小さなパーツから平面・立体とあらゆる形を作ることができる新感覚のパズルブロックだ。パチッと音がしたらつながった合図で、この感覚がはまってしまう。同ショップでは、すでに昆虫が作れる箱入りLaQを648円と2千700円で販売しているが、このたび子どもたちに人気のカプセルタイプで「伊丹市昆虫館限定商品」として新たに仲間入りさせた。

セミ、チョウ、ハチ、クワガタ、カブト、てんとう虫の全6種類。1回300円。何が出てくるかわからないワクワク感が魅力だ。

同ショップの売れ筋第1位は「缶バッジ大」(200円)。中でもホログラム

加工を施したキラキラした缶バッジが人気という。2位以降は「ペーパークラフト」「箱入りLaQ」と続く。

このほか昆虫館でしか買えないオリジナル「Tシャツ」(通称「むしT」)も人気。絵柄は全て同館学芸員が撮影したもので、145種類の柄から選べるオーダーメイドだ。

また、市内の障がい者就労施設を運営するNPO法人とのコラボ商品で、羊毛フェルトでできた昆虫の「マグネット」(200円)や昆虫の絵柄を刺し子で表現した「刺し子のふきん」(250円)も人気商品という。

現在開催中の企画展「伊丹の自然」(昆虫池公園の今)に合わせて白鳥などの「ぬいぐるみ」や昆虫池での野鳥観察にも便利な「鳥の識別表」も販売している。(龍田起代子 伊丹市昆虫館)

伊丹市昆虫池3-1 昆虫池公園内
☎072-785-3582

伊丹俳壇

「バレンタイン」坪内稔典 選
(佛敎大学・京都敎育大学名誉敎授。柿衛文庫理事長)

最優秀賞
甘くないチョココレイトよと渡される
堺 紀彦 (滋賀県高島市)

このような氣遣いをしてくれる人がいるといいな、と思うが、でもチョコって甘いからこそチョコ。
私としては、バレンタインにはうんと甘いチョコをほんの少々もらいたい。

優秀賞

カクテルをしゃしゃりバレンタインの日 平 きみえ (伊丹市)
100さいやバレンタインにミルクチョコ 春 蘭 (伊丹市)
マシマロがいいわねバレンタインデー 諸富 千歳 (伊丹市)
観覧車バレンタインの日の終はる 水野 大雅 (愛知県名古屋)
バレンタインつかんで渡した君の手に ゆきうさぎ (京都府南丹市)

伊丹歌壇

「手紙」尾崎まゆみ 選
(「玲瓏」選者。神戸新聞文芸短歌選者。現代歌人協会会員)

最優秀賞

追伸が長くなるのがわたしたち「書く」がことばを連れてくるのね
近藤 千草 (伊丹市)
手紙を書く楽しさは追伸にある。本文の後、追伸を書き始めると言葉が心を連れてきてくれて、氣持がいい。「わたしたち」で共感して「くるのね」で領いてしまう。小さな発見を見せてくれて、楽しくなる歌は貴重。

優秀賞

取りためた古き手紙を読む時は我が裸木に連なる氣がする
梅垣 和良 (西宮市)
果ての無い宇宙にぼつり当てる無いボトルメールを運ぶボーイジャー
須磨 螢 (神奈川県鎌倉市)
鷹の字が三の二倍の大きさに書かれ三鷹市より手紙来る
松本 秀 (北海道登別市)
由紀さおり歌ふ手紙の曲がふと口突いて出る深夜のソファア
小田 和子 (明石市)
手が震え字書けぬメールも打てぬ歳音声認識私の手紙
つみき (福岡県行橋市)



次回の兼題は、俳壇は「蛭」、歌壇は「遊園地」とします。応募は1人各1作品、自作未発表作品に限る。応募締切は、4月16日(必着)。最優秀賞には図書券千円進呈。左のQRコードを利用すると、ケータイからも応募できる。問い合わせは、ことば蔵へ。

タンジョー先生 はやしやよい



林やよい
伊丹市在住。毎日新聞兵庫版にイラストエッセイ「くるまいすまいる」を連載中。

3月16日から

こども文化科学館で学ぶ宇宙開発
ISSをテーマにしたプラネタリウム

「ISS (国際宇宙ステーション)」をテーマにしたプラネタリウムの投影と宇宙開発をテーマにした企画展が3月16日から5月26日まで市立こども文化科学館で開かれる(プラネタリウムは5月31日まで)。

大阪国際空港(伊丹空港)滑走路脇にある同館は、子どもの科学心をくすぐる展示や大迫力のプラネタリウムが目玉の人気施設。平成25年(2013)3月にリニューアルオープンした際にメガスターと呼ばれるプラネタリウム投影機Ⅱ写真Ⅱを導入した。プラネタリウムドームは直径14m、高さは7m以上あり、迫力満点。約150人を収容でき、週末には多くの家族連れが、季節ごとの星空を楽しんでいる。

ISSは、日本をはじめアメリカ、ロシア、欧州諸国など世界15カ国が参加する国際協力プロジェクト。2019年、2020年と日本人宇宙飛行士が滞在を予定していることから、子どもたちにISSを知ることから、星空や宇宙に興味を持ってもらえたら

と企画された。

ISSとは何か、宇宙のどこにあるのか、そこで暮らす宇宙飛行士はどのような生活を送っているのかなどを、クイズを交えて学んだり、同館人気キャラクター「ひよんたん」や「へちまん」と一緒にISSから地球の様子を眺めたりできる。

こども文化科学館のプラネタリウムにはレギュラー投影に加え、キャラクターが登場する「ちびっこ投影」や、音楽と星空に包まれる癒しの時間「トワイライト投影」も用意されている。こちらは全編生解説付きだ。この春はプラネタリウムが映し出す星空を眺めながら、ISSに思いを馳せてみてはいかがだろうか。

プラネタリウム・常設展示は有料。大人400円、中高生200円、小人100円。

プラネタリウムクリエーターであり、「メガスター」を生み出した大平貴之さんのトークショーが、3月3日午後4時半からこども文化科学館で開催される。プラネタリウムの魅力を語ります。参加料500円。要申込。

問い合わせはこども文化科学館 ☎ 072・784・1222へ。



▼カップ酒はおもしろい
昨年末に鳥取県のカップ酒セットをいただいたので、今回はカップ酒について。おやじの飲み物という印象が強いが、最近は酒造会社によるおいしいカップ酒も続々登場していて結構おもしろい。「くまもんカップ」「ぐんまちゃんカップ」といった、ゆるキャラとコラボ

♪もうすぐ春ですねえ、恋をしてみませんか？

♪恋は不思議ね……恋なんて恋なんて何になるの？

こんな歌がありましてね。昭和の頃です。恋は片思いでもステキ。

昔むかしバレーボール部に入っていた私。野球部のピッチャーがおりまして、帰り道が一緒だったので、いつも自転車の後ろに乗せてもらった。照れくさかったけれど、うれし。

「ベルトをしつかり持つておけよ」と言われ、ピッチャーのベルトをしつかりと握る。夕日の坂道。ほほを背中につけ、家の前までるるるんで、「ただいま」の声はいつも大きかったと思う。

紺のスリーピースに毎ピースの煙。横に座

ボした、見た目がかわいい商品もある。
▼便利でうまい！
カップ酒は、買ってすぐそのまま、ぐいっといける便利さが最大の特徴だ。仕事帰りにコンビニへ寄ってお店を出るなりゴクリなどということができる！
常温のもの、冷蔵されたもの、どちらもうまい。熱燗にするなら電子レンジか湯煎。湯煎の場合、摂氏60度以下のお湯ならフタを付けたまま加温OK。それ以上の温度ならフタを外せば、瓶を割らずに燗ができる。
▼旅のお供にカップ酒
カップ酒と鉄道は縁が深い。駅名



(ときわ喜多)

を付けたカップ酒のほか、吟醸酒、純米酒、普通酒3本セットの「新幹線飲みくらべカップ」なんていう商品も出ている。東京や大阪にはカップ酒だけを置いた日本酒バーがあり、鉄ちゃんに人気という。鉄道旅のお供にはカップ酒。皆さんも出張の際はぜひ！

元おかの ぎまぐれ つらム

これも恋 あれも恋



と、ピースのいい匂い、いい感じ。その頃は煙草のことは今のようにはうろたえて言われていない時代で、その人の横にいるのがとても幸せに感じた。
今はシュンカンの恋、スレチガイの恋、ひと目ぼれ……。さあ今日お風呂に入って流そう、明日があるさ！
あの角も
この角も今
梅ふむ
平 きみえ